

経営比較分析表（令和元年度決算）

静岡県袋井市 聖隷袋井市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(代行制)	4	-	訓	-
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
88,521	10,399	非該当	15:1	

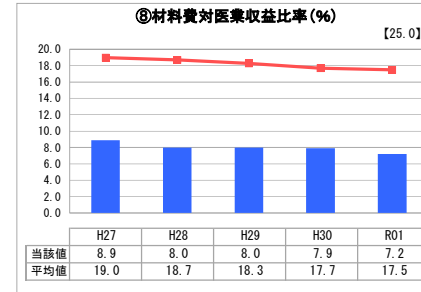
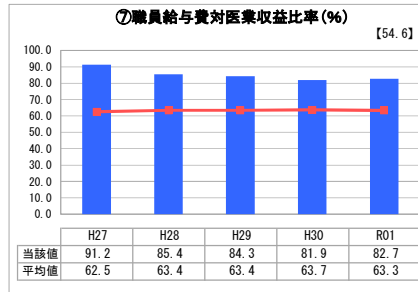
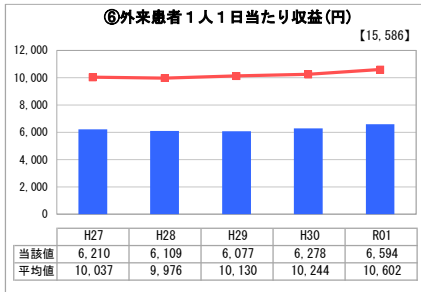
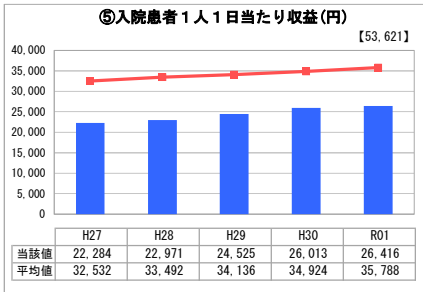
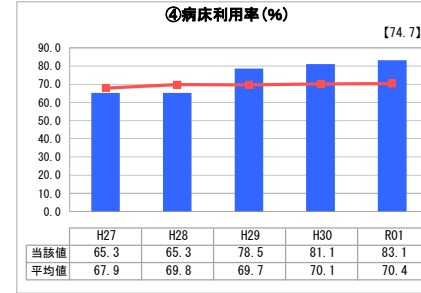
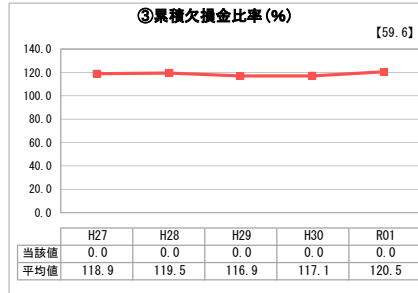
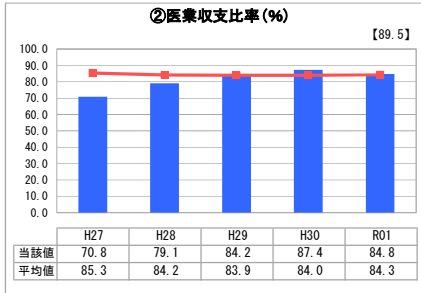
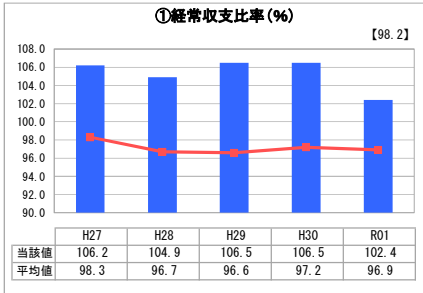
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

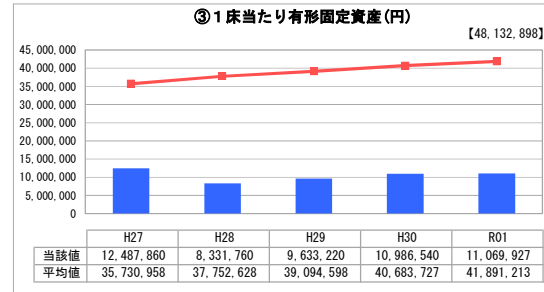
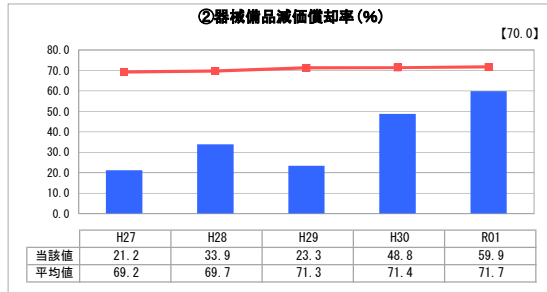
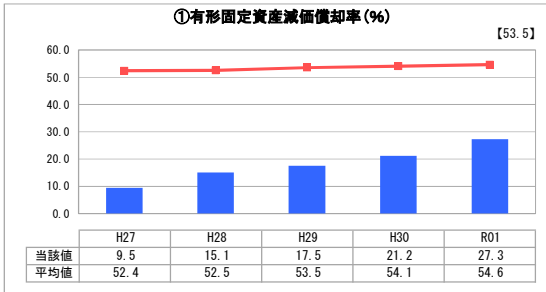
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
100	50	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	150
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
100	50	150

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	-	平成25年度

I 地域において担っている役割

公立病院の統合により新たに設立された中東遠総合医療センターの後方支援病院として、外来機能(一次医療)と、一般病床・療養病床・回復期リハビリテーション病床を市内で運営している。

高度医療(二次医療)を担う中東遠総合医療センターと、地域の診療所、訪問看護・介護事業所等と連携して機能分担し、切れ目のない地域医療体制を提供する、地域包括ケアシステムの拠点として運営している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成25年度の開院以降7年を経過し、安定的な運営を行っていることから、経常収支比率も持続可能な経営を実現するための指標である100%を超えている。

入院・外来患者の1人1日当たり収益については、当院は比較的収益性の低い慢性期病床が主であるため、平均よりも下回っている。

しかし、入院患者数の増加に加え、医療環境の向上によって、1人1日当たり収益は年々増加している。同様に収益全体も増加していることで、医業収支比率及び病床利用率の改善が進み、昨年度同様平均を上回ることができた。

また、令和元年度より実施を始めた訪問リハビリテーション事業も好調であり、当初の計画よりも多くの利用を得ている。

今後は収益増加に向けた取り組みを継続して進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

旧袋井市立袋井市民病院の閉院に伴い、袋井市立聖隷袋井市民病院は平成25年に開院したが、施設自体は外来部分が昭和54年に建設され約40年が経過し、病棟部分が平成元年に建設され約30年が経過している。

平成30年度には空調・給湯設備更新工事を実施し、今年度は一般X線撮影システム等医療機器を更新する等、計画的に施設修繕や備品の更新を行っているが、施設の老朽化が著しく、備品等も経年劣化が進んでいる。今後は計画的に施設修繕や備品の更新を図り、より良い療養環境の提供に引き続き努めていく。

全体総括

経営は順調に推移している。今後においても、平成28年度に策定した「袋井市立聖隷袋井市民病院改革プラン」に基づきながら、経費削減・抑制に向けた取り組み、収入増加・確保に向けた取り組み、人材確保・離職防止に向けた取り組みなどを推進し、効率的で安定した経営基盤の確立に向け、より一層努力していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。